



古川浩延 会長

「つまり、流通の『安全・安心』になくてはならない重要な機能だ

東日本大震災や熊本地震で注目されたように、ある程度専門性の高い需給調整・在庫管理ができないと、店舗に物が必要に応じて並ばない。

倉庫に保管した後に、消費の需要に応じて出庫するということになりま

倉庫業は各種物品の保管や流通加工を中心とする事業で、物流の仕組みの中で需給の調整弁のような公共性の高い役割を果たす。広島県倉庫協会の古川浩延会長は、

「物流関係の仕事は大変だと思われる、具体化を進めている。」
「物流関係の仕事は大変だと思われるが、倉庫業では一般的に長時間労働がなく、大切な商品をお預かりしている関係から職場はいつもきれいに整理されています。ロットや在庫の期限の管理など、正確性と責任感が要求される業務も多い。普

広島経済ネットワーク 業界訪問—

第12回 広島県倉庫協会



と言います。こうした内容を知っていただくとともに、若い方々にこの仕事の魅力を実感してほしいと、協会員の倉庫の見学会を計画。近年は人手不足が深刻な課題ということもあり、業界を挙げたりクルートプロジェクトを立ち上げました」
県内の高校の先生を招き、第1回目の倉庫見学会を6月中旬に予定。

段は建物の外側だけしか目にしない倉庫の中で、この仕事の重要さを感じ取ってほしい」

18年3月に70周年

同協会には、倉庫業法に基づいて国土交通大臣から登録を受けた72社が加盟。同協会は全体のサービス水準の底上げや付加価値の向上につながる教育・研修活動を積極的に実施。集中的なIT研修や簡易版BCP（事業継続計画）の策定支援などは、その一例だ。公共性の観点からは、自治体と結ぶ自然災害協定に基づき、2014年の広島土砂災害で会員事業者の倉庫を拠点として食料品などの災害支援物資が被災地へ迅速に届けられたことも記憶に新しい。
「18年3月に協会設立から70周年。次の10年につなげる事業を考えつつ、倉庫業の健全な発達や事業の適正な運営を促し、豊かな社会の構築と経済活動に貢献したい」

《概要》 南区京橋町1-23▽19
48年3月10日設立▽会員72社▽
古川浩延会長（ゲイソー・ロジスティクス社長）。